

安否確認訓練は、短時間に無事報告（黄色いタオルの掲示等）の数を確認集計するだけの訓練ではありません！

安否確認は、家の中で動けなくなった負傷者をできるだけ早く探し出し、救助するための手段の一つです。訓練では救助が必要な家はありませんが、災害時は無事連絡のない家の確認をする必要があります。無事報告がない（黄色いタオルの掲示がない等）家には、①呼び出しベルを鳴らし無事報告の必要性を説明する、②無事報告の必要性を説明した文書を投函する など次回訓練時の協力をお願いしておきましょう。

自主防災部（自治会エリア）であらかじめ安否確認の方法を決めておきましょう

(1) 安否確認するグループと、とりまとめ責任者を決める

「向こう三軒両隣」や、もともと自治会で決めている「班」や「組」ごと、マンションなら「階」ごとなど、最初に安否確認をするグループを決めてください。



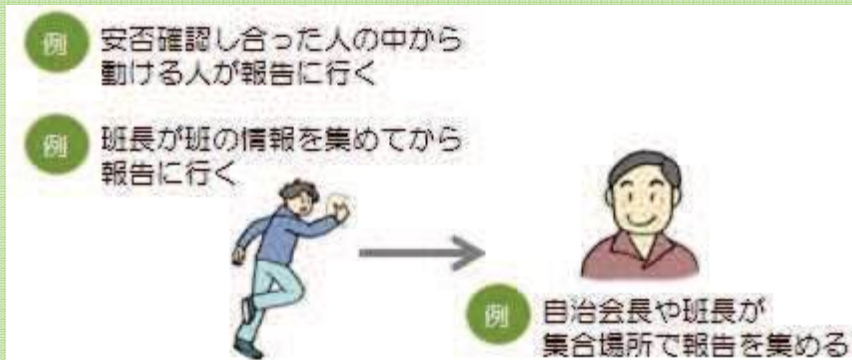
(2) 安否確認の方法を決める

「グループで集まって安否の確認をする」、「黄色いタオルを掲示して無事の報告をする」、「グループ長が個別訪問して安否の確認をする」などの安否確認の方法を決めてください。

(3) 報告・情報を集める手順を決める

「グループで安否確認をしたらだれに報告をするか」、「最終的にだれが情報を集約するか」などの手順を決めてください。

自主防災部（自治会エリア）の世帯数や、マンションの規模などによって、手順が異なってきます。例えば、広い範囲でたくさんの世帯が所属する自主防災部（自治会エリア）などでは、いったん数グループで情報をとりまとめ、その中からまただれかが代表で最終的な報告に行く、という手順になるかもしれません。それぞれの自主防災部（自治会エリア）に合った手順を決めてください。



(4) 安否確認結果を持ち寄る場所を決める

自治会集会所や一時避難場所など、安否確認結果を持ち寄る集合場所を決めてください。

安否確認の仕組みは、自主防災部で構築します。既に構築されている自主防災部もありますので、詳細は自主防災部の指示に従ってください。

自主防災会ホームページ

各種行事案内や防災会役員向けの資料などを掲載していますので是非ご覧ください。

<http://oginosatojishubo.com/>



仰木の里学区 自主防災会だより

2025年
1月号
VOL.11

あけましておめでとうございます。



仰木の里学区自主防災会
会長 津原 士郎

仰木の里にお住いのみなさん、本年もよろしくお願いいたします。昨年元旦に発生しました能登地震は、地震関連による死者が500名を上回り、地域の復旧もいまだに終わっていない状況にあります。

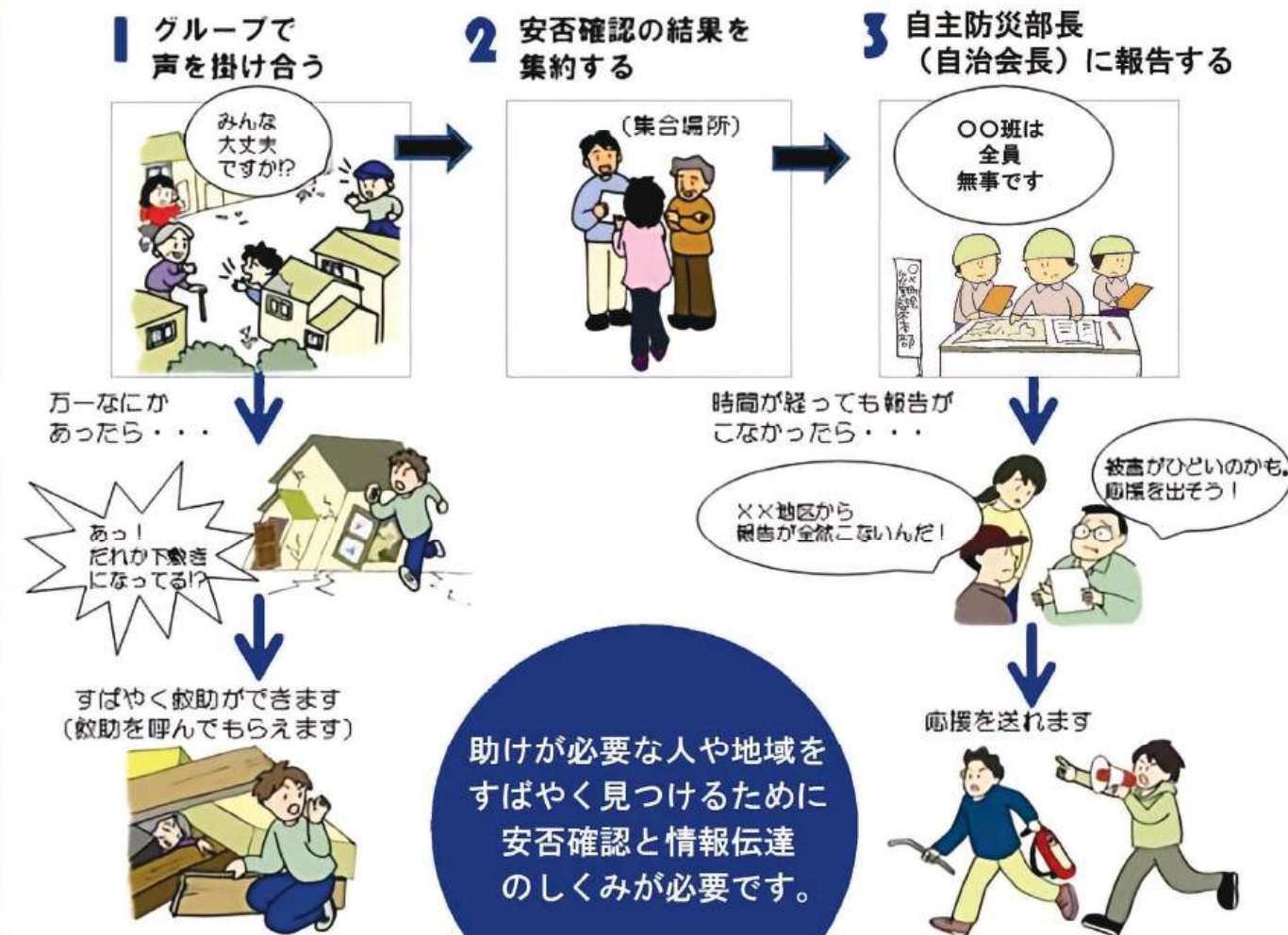
私たちの住む「仰木の里」も琵琶湖西岸断層帯において、震度7の大地震が30年以内に3%と地震としては高確率で発生すると予想されています。自助・共助・の重要性をふまえ、災害に備えた地域防災活動を共に進めましょう！

自主防災部（自治会エリア）で安否確認訓練を実施しましょう

普段から顔の見える関係にある自主防災部（自治会エリア）単位で、大きな地震の後の安否確認がスムーズに実施出来るように、普段から安否確認訓練を実施しましょう。

安否確認の目的は、災害時に救助が必要な人を見つけることです。安否確認することで、救助が必要な人をすばやく発見して助けることができます。

「安否確認のしくみ」はなぜ必要？



■ 救助が必要なときは

安否確認に行ったら、家が倒壊していたり、中から助けを呼ぶ声が聞こえるかもしれません。119番に通報すると同時に、近所の人と協力して、救助をお願いします。安否確認グループで対応出来ない場合は、報告手順に従って救助を要請します。

応答がなければ家の中で救助を待っているのかもしれない。隣近所で協力して無事を確認しましょう。

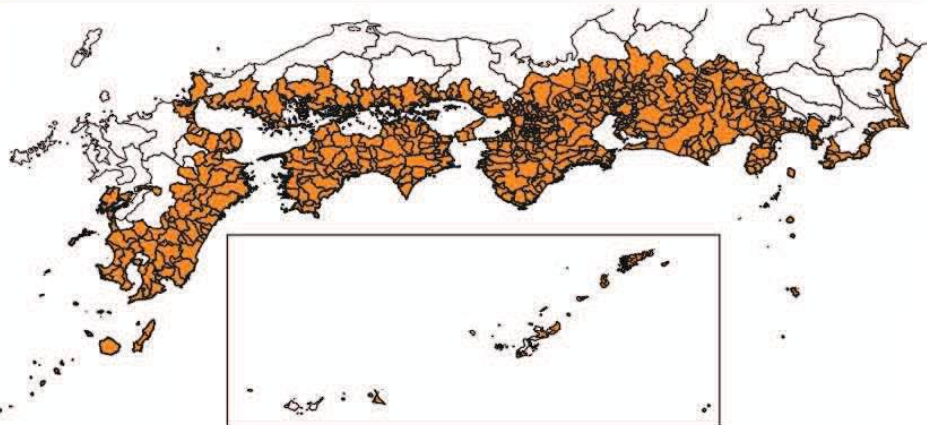
南海トラフ地震 —その時の備え—

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。**マグニチュード8~9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70~80%なので次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。**



南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

■南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域
南海トラフ地震防災対策推進地域

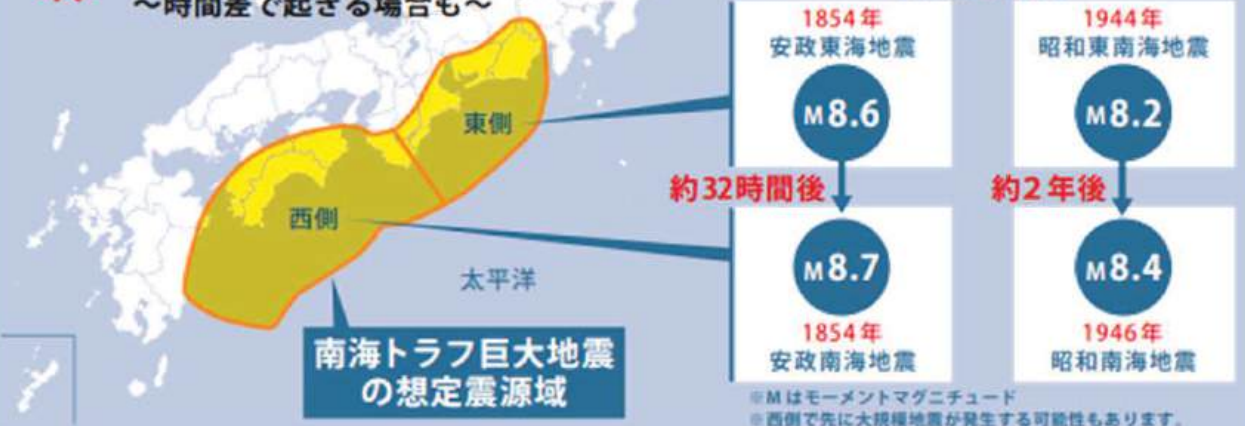


指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

地震は一度では終わらないかも

~時間差で起きる場合も~



南海トラフ地震臨時情報 とは！

~南海トラフで発生する巨大地震に備えましょう~

昨年8月に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が気象庁から発表されましたが、これは南海トラフの想定震源域で地震が発生した時、大地震が発生する可能性がふだんと比べて高まっている場合に発表されるものです。今回はどういった場合に南海トラフ地震臨時情報が発表されるのか、また、発表される南海トラフ地震臨時情報の種類について説明いたしますので、呼びかけに応じた防災対応をとりましょう！

地震発生後の防災対応の流れ

